

シルバー流山

第244号 令和4年10月15日

公益社団法人 流山市シルバー人材センター
〒270-0114 流山市東初石3-103-18
URL : <http://www.sjc.ne.jp/nagareyama/>

TEL 04-7155-3669

FAX 04-7154-1839

E-mail : nagareyama@sjc.ne.jp

10

「シルバーフェスタ in 流山」実施計画 ～ テーマ「いつまでも元気にいきいきと」～

地区懇談会や地区リーダーズ会議などで、「市民に対するシルバー人材センターのPRが不足しているのではないか」という意見がよく出されます。そこで、昨年度から3大新聞への折り込みチラシの配布やポスターの作成・配布、「シルバーだより」の発行を行い、会員募集とシルバーの事業について、広く市民に周知を図ってきました。

また、市民との直接的なふれあいの中で、シルバーをPRするものとして、シルバーフェスタの実施を第2次中長期計画や事業計画に位置付けてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施が見送られてきました。

予防接種やウィズコロナの意識の普及もあり、懸案となっていたシルバーフェスタを、新型コロナウイルス感染症予防対策を図ったうえで、次のように今年度実施することになりました。

令和6年2月が、当センター設立40周年の節目となることから、来年度に本格的なフェスタを行うものとして、今年度は前夜祭的に行います。前夜祭的とは言え、実施する以上は、会員の参加と創意によって、楽しいフェスタにしたいと思います。

講演会や演芸会、作品展示、シルバーの技能・技術の披露などの内容を考えていますが、多くの会員の参加と協力がなければ成功しません。今後、実施内容を決定し、参加者の募集をしていきますが、その際は、ぜひ、皆さまの積極的な参加をお願いします。

「シルバーフェスタ in 流山」
実施日：令和5年2月14日（火）

テーマ：「いつまでも元気にいきいきと」
場 所：生涯学習センター

■ 地区懇談会の日程

3年ぶりに地区懇談会を下記の日程で開催します。新型コロナウイルス感染症予防のため、飲食を伴う会議ができませんが、多くの会員の参加により、地区の課題について意見交換し交流を深めていきたいと思えます。シルバーの現状と課題をメインテーマとする他、地区それぞれのテーマについて意見交換します。

地区	開催日	時間	会場	地区	開催日	時間	会場
1	11月5日（土）	12:30～	北部公民館	6	10月24日（月）	14:00～	シルバーセンター
2	11月20日（日）	13:30～	森の倶楽部	7	10月25日（火）	14:00～	平和台福祉会館
3	10月16日（日）	15:30～	北部公民館	8	11月3日（木）	13:00～	野々下福祉会館
4	10月23日（日）	14:00～	江戸川台東自治会館	9	12月2日（金）	10:00～	南流山福祉会館
5	10月24日（月）	14:00～	シルバーセンター	10	11月24日（木）	13:30～	名都借福祉会館

シルバーライフで豊かな人生を！

活動報告

『令和4年度 第6回理事会』 9月5日(月)

【報告事項】

① 令和4年7月の当センターの運営状況は、会員数733名(男性567名・女性166名)で前年比55名増(男性22名増・女性33名増)、事業実績累計は前年比9.3%増、就業率は73.1%で前年比2.4%減(派遣会員16名を含めると就業率は前年比2.3%減)。7月単月の事業実績は前年比7.2%増と順調に推移 ② インボイス制度の対応 ③ 令和4年度会費未納者に対する督促状 ④ 千葉県政策法務課立入検査の実施 ⑤ 就業情報説明会の開催

【協議事項】

① 8月の新入会員10名(男性5名・女性5名)の承認と退会会員7名(男性2名・女性5名)の報告 ② 指定管理者募集要項 ③ 令和4年度地区懇談会 ④ 組織改編検討委員会委員の委嘱 ⑤ 長期就業異動対象者に関する事務要領 ⑥ 流山シルバーフェスタの実施 ⑦ 女性限定地区懇談会の実施

『広報委員会』 9月2日(金)

① 会報9月号原案のチェック・校正 ② 会報10月号の編集 ③ HP刷新・維持管理体制

『安全適正委員会』

【適正巡回】 9月2日(金)

安全適正委員3名で以下の施設を訪問、市に依頼の工事はいずれも完了を確認。

① 運河駅自転車駐車場：プレハブ建屋の電気引込線工事 ② 西深井福祉会館：玄関前と自転車駐車場の水捌け工事 ③ 江戸川台駅自転車駐車場：東12番駐車場の整地舗装工事

【器具点検】 9月3日(土)

委員5名、植栽班4名、資材置場にて脚立60脚の点検を実施、要修理なし。

実施結果：安全表示ラベルの剝がれ・損傷はその場で貼替修理

『女性部会』 9月15日(木)

① 東京しごと財団が展開するシルバー応援フェスタ視察について ② 茨城県シルバー人材センター連合会での講演出席11/8(火) ③ 市民まつりとロードレースへの参加

『就業開拓・会員拡大部会』 9月8日(木)

① 部会発足一年、これまでの活動状況を中間報告 ② 会員拡大施策案を継続議論：配分金の見直し、女性部会との連携強化、地区別ミニ入会説明会、趣味の輪を活用、クチコミによる会員拡大、会員間で交流できる場の拡充

『組織改編検討委員会』 9月5日(月)

① 地区理事10名に委嘱状交付 ② 海老原常務理事を委員長に選出 ③ 検討委員会の設置目的(地区活動の活性化と地区の再編成、理事定数の在り方、専門委員会の役割など持続可能な組織体制の確立等)確認 ④ 各委員からの現状認識の発表 ⑤ 令和5年9月末日までに結論づける

『シルバーフェスタ実行委員会』 9月5日(月)

① 令和5年2月14日(火)生涯学習センター開催を理事会に諮る。テーマ【いつまでも 元気でいきいきと】、実施内容は10月末までに決定予定、パネル展示・会員作品展・展示即売会・入会説明会・実演講習会等 ② 東京しごと財団、葛飾区、港区、千代田区等のフェスタを視察予定

『指定管理プロジェクト会議』 9月13日(火)

① 公募説明会出席者の報告(南流山・向小金福祉会館、南流山センター・初石公民館) ② 今後のスケジュールの確認(申請書作成・提出、パワーポイント作成準備、新規自主事業案等) ③ 指定管理選定委員会への出席(出席者の選任、リハーサルの実施等)

『自転車駐車場・放置自転車班長会議』 9月16日(金)

① コロナ禍での勤務と対応 ② 自転車関係収支状況と現状 ③ 利用者のアンケート集計結果は良好 ④ 制服の見直しと改善案 ⑤ 各職場の問題点改善と対策の意見交換、⑥「市民まつり10/30(日)」、「ロードレース11/6(日)」の応援要請の説明があった

無理しない 行動考慮に 怪我は無し

友の会だより

「流山シルバー友の会」は、人材センター会員とOBの「いきがづくり」を応援する組織です

バス旅行等の企画

◆バス旅行はコロナ感染症が十分に収束していない現状を考慮し、年内は実施できない状況と考えられます。

◆現地集合、現地解散のハイキングを計画します。

◎ゴルフ同好会「コロナに負けず活躍中！」

本年5月より新役員にて年8回のコンペを行いました。78回(6月)・79回(9月)と実施してコロナにも負けず、新会員の応募も1・2件問い合わせをいただき、80回(10月)の区切りには「新会員さんの参加」もあると思います。今後とも親睦を深めた、同好会の運営に頑張ります。

(鈴木 英一・記) 第79回大会の入賞者です →



◎写真同好会「令和4年度 前半の活動を終えて」

今年度はコロナの第6波が収束するのではという希望的観測のもとに始まりましたが、6月に入って第7波の流行が始まり現在は収束に向かっていますが油断が出来ません。

写真同好会では定例会と展示会を行いました。その他はすべて中止となってしまいました。展示会は人のいない時を見計らって展示を行い、施設では展示作業を施設の職員にお願いするなど工夫を重ねて実行しました。定例会は、撮影会が出来ないため、作品づくりは全て個人任せとなってしまいました。却ってそれぞれの裁量で工夫をした作品が出来たのではないかと思います。平常通りの活発な講評会を行うことが出来たと自負しています。

何とか後半は第8波を回避して撮影会など通常の活動を行いたいと考えています。(小島 英司・記)

◎パソコン同好会「9月例会 Zoom 開催」

9/20(火)にコミュニティプラザで例会を開催する予定でしたが、大型台風が接近してきたため、急遽、Zoom 例会に切り替えました。久しぶりのZoomでしたが、会員の現況等の話題で楽しく過ごしました。

(横田 清四郎・記)



同好会名	開催日①	開催日②	開催場所	開始時刻	連絡先(入会等)
ゴルフ	10/20(木)	11/17(木)	野田市PG場(ひばり)	08:30(スタート)	鈴木 080-3461-6820
パソコン	10/18(火)		南福祉会館	14:00 ~	横田 080-6117-4426
		11/15(火)	コミュニティプラザ	14:00 ~	
写真	10/25(火)	11/22(火)	コミュニティプラザ	14:00 ~	小島 04-7154-9377

『指定管理者の選定に応募しました』

令和4年度で南流山福祉会館の指定管理期間が満了することから、市では、9月1日に南流山福祉会館をはじめ5施設の指定管理者再選定の募集を公表しました。

当センターは、南流山福祉会館の指定管理者として平成18年度から継続して受託していることから、南流山福祉会館の指定管理について再選定に応募しました。

今後、10月中旬に実施される選定委員会でのプレゼンテーション審査を経て、その結果が10月下旬に通知され、最終的には12月議会議決後に正式決定される予定です。



『全シ協「会員拡大・就業開拓担当者会議」で事例発表しました』

公益社団法人
流山シルバー人材センター

～女性会員の活躍の軌跡～

常務理事 海老原 廣雄

令和4年8月15日



8月会報でお知らせしましたが、全国シルバー人材センター事業協会主催の「会員拡大・就業開拓担当者会議」において、当センターの海老原常務理事が事例発表を行いました。Zoomによる録画を8月15日から同28日まで全国の各シルバーセンターが視聴し研修するものですが、この期間で2,000名の担当者が視聴したとの報告を全シ協から受けました。さっそく、茨城県シルバー人材センター連合会から講演依頼があるなど、反響がありました。

お互いに 声かけあって 安全作業

事務局だより

TEL 7155-3669

FAX 7154-1839

会員数：令和4年9月30日現在

計	730	男性	563	女性	167
---	-----	----	-----	----	-----

日	曜	10月の予定
16	日	第3地区懇談会(北部公民館)
17	月	入会登録説明会(シルバー)
18	火	
19	水	
20	木	配分金支払日 女性部会
21	金	
22	土	
23	日	第4地区懇談会(江戸川台東自治会館)
24	月	ロードレース大会ボランティア説明会(シルバー) 第5地区, 第6地区懇談会(シルバー)
25	火	第7地区懇談会(平和台福祉会館)
26	水	千葉県政策法務課立入検査
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	流山市民まつり
31	月	事業運営委員会

日	曜	11月の予定
1	火	シルバーフェスタ実行委員会
2	水	
3	木	文化の日 第8地区懇談会(野々下福祉会館)
4	金	広報委員会 適正巡回
5	土	器具点検 第1地区懇談会(北部公民館)
6	日	流山ロードレース大会
7	月	入会登録説明会(シルバー) 理事会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	南流山センター&福祉会館オータムフェスタ
14	月	館長等会議(シルバー)
15	火	入会登録説明会(南流山センター) 「シルバー流山」発行

◎新入会員のご紹介(敬称略)(○で囲んだ数字は地区名)

中島 達雄 ① 大内 ミヤ子 ④ 渡辺 和男 ⑥ 新津 洋子 ⑦ 江藤 耕平 ⑦ 加藤 智恵里 ⑦
 荘田 澄江 ⑨ 村越 和美 ⑨

◎10月1日からアルコール検知器による運転前後の確認が義務化されました!

一定数の自動車を保有し使用する事業所は、安全運転管理の徹底が求められていますが、法令改正により、10月1日から、運転者の運転前後のアルコールチェックを、アルコール検知器を用いて行うよう義務化されました。当センターでは、安全運転管理の事業所に該当する当本部が、法令改正の適用となります。他の施設は除かれませんが、飲酒運転撲滅の趣旨をご理解のうえ、引き続き、公私にわたり、安全運転の励行にご留意いただくようお願いいたします。

◎2023年度版 会員手帳の配布について

会員の皆さまには、年末にカレンダーを配布していましたが、今年は、カレンダーに替えて、全会員に対し、全国シルバー人材センター事業協会で作成している「2023年度版 会員手帳」を年末に配布します。

◎事務局臨時職員の募集について ～事務局職員としてシルバーにご尽力いただけませんか～

事務局臨時職員の退職に伴い、臨時職員2名(自転車駐車場担当、就業担当、各1名)を募集します。
<<自転車駐車場担当>>・令和5年4月1日採用 ・**仕事の内容** 自転車関係経理、配分金関係、市の指定管理及び契約に係る諸事務、自転車受付・整理・放置に係る調整事務
<<就業担当>>・令和5年2月1日採用(調整可) ・**仕事の内容** 会員の入退会管理、就業先の開拓、就業斡旋、契約書締結に係る事務、就業先との調整事務
資格：各担当とも令和5年4月2日現在70歳以下の健康な方 **技能**：自動車運転可 ワード、エクセル使用可 **賃金**：時給1,000円 期末手当年間1月分 交通費有 **年休**：労基法の規定による **就業期間**：75歳まで可 **所定労働時間**：8:30～17:15(1日7時間45分勤務) 自転車駐車場担当：週4日勤務、就業担当：週5日勤務 **各種労働保険・社会保険適用** **面接等の選考により決定**(日程等詳細は後日通知)
 ～希望者は11月7日(月)までに事務局へ市販の履歴書を提出してください。(期日厳守)～

編集後記

『チョコちゃんに叱られる(NHK、7/29放映)』によると、社会人になって親元を離れて暮らす子どもと親が、生涯一緒に過ごせる時間を日数換算すると母親は7年6か月、父親は3年4か月とのこと。子どもと別居しているシルバー世代の親が、子どもと会えるのは年6回程度、1回4H一緒に過ごすすると6回×4H=24H。すると、これから子どもと過ごせる日数は余命年数とほぼ同じになる模様です(余命10年なら10日)。一方、元気に過ごせる健康寿命は「平均寿命-約10歳」と言われておりますが、当会員の平均年齢は約75歳で、平均就業率が70%前後の現状から考えると、当会員の皆さんは、歳相応にお元気で、ご活躍されています。コロナ禍ですが、これからも家族と過ごせる時間を大切に、明るく、楽しく、チョコちゃんに叱られないように。
 (羽田野 耕一・記)

<編集委員>

池内弘行・都築宣治
 羽田野耕一・寺崎文子

引き締める 心とベルト しっかりと